

介護人材確保と職場定着を考える介護・福祉職員ワークショップの開催について

1 目的

市内介護・障害福祉事業所に勤務する若手職員が自信と誇りを実感し、新たな取組への挑戦につなげるため。以下3点に主眼を置き実施する。

(1) 仲間づくり

事業所の垣根を超えた交流により孤立を防ぎ、モチベーションを高める。

(2) 共感

悩みを共有し、仲間同士で解決策を考え、互いを尊重して支えあう。

(3) 介護業界の変革

将来の若手人材を育てる環境づくりを地域とともに考える。

2 概要

(1) 日 時：令和5(2023)年6月22日(木) 14時～

(2) 参加者：柏崎市内の介護・障害福祉施設に勤務する勤続年数10年未満、概ね39歳以下の若手職員22名

3 実施内容

参加者を4、5名を一つのグループとしたグループ分けをし、ワークショップを実施。以下のテーマについて話し合う。

なお、正解・不正解のない意見交換の場を通じて、参加者の心理的安全性を確保しつつ、日頃とは異なる思考訓練により、発想の幅を広げるよう配慮しつつ運営する。

(1) 介護・福祉職の魅力について

→仲間とのマインドの共感を通じ、介護・福祉職の魅力について考える。

(2) 未来の介護・福祉の世界について

→現状から離れ、未来の変革について自由に考える。

4 期待される成果

若手職員の離職防止や職場定着を図るため、仲間とともに、介護・福祉の未来を描く活動の場を創出する。

なお、この取組を新たな人材確保・職場定着支援策とし、事業化を検討する。